

荒井 恵美
チャリティ・コンサート Vol.Ⅲ

EMI ARAI Charity Concert

共 演

Guit: 尾尻 雅弘 * Ten: 松岡 重親 * Vn: 佐久間 大和

Pf: 松川 儒 * 荒木 さやか * Perc: 中山 奈穂

2003年 2月11日 (火) PM. 2:00

横浜みなとみらい 小ホール

《後援》

ドイツ連邦共和国大使館 / (財) 日独協会 / (財) 横浜市文化芸術振興財団

鎌倉市教育委員会 / TVKテレビ / 横浜エフエム / 鎌倉音楽クラブ

《主催》

ピアチェーレ・ムジカ

PROGRAM

< I 部 >

翼 / めぐり逢い / 鳥へ / 見えない子供 / 恋のかくれんぼ	
小さな空	武満 徹
小さな足あと	青 英権
死んだ男の残したものは	武満 徹
見上げてごらん夜の星を	いずみ たく

< II 部 >

～ソプラノ～

歌劇『死の都』より	『Die tote Stadt』	W・コルンゴールド
私に残されていた幸せよ	Glück das mir verblieb,	W.Korngold
歌劇『清教徒』より	『I Puritani』	V・ベッリーニ
あなたの美しい声が	Qui la voce sua soave	V.Bellini

～2台ピアノ～

オペラ『こうもり』より	『Die Fledermaus』	J・シュトラウス
序曲	Ouverture	J.Strauss

～テノール～

オペラ『微笑みの国』より	『Das Land des Lächelns』	F・レハール
君はわが心のすべて	Dein war mein ganzes Herz!	F.Lehár

オペラ『メリー・ウィドウ』より	『Die lustige Witwe』	F・レハール
-----------------	---------------------	--------

～ソプラノ～	ヴィリヤの歌	Vilja-Lied	F.Lehár
--------	--------	------------	---------

～2重唱～	唇は黙しても	Lippen schweigen	
-------	--------	------------------	--

オペラ『観光案内人』より	『Der Fremdenführer』	K・M・ツィラー
美しく懐かしきドナウの街	Liebe, schöne alte Donaustadt	K.M.Ziehrer

<プログラム・ノート>

【翼】武満徹作詞、演劇『ウィングス』公演(1982)の為に作った。

【めぐり逢い】荒木一郎作詞、映画『めぐり逢い』(1968)の主題歌。封切り当日の新聞に「現代音楽家の武満徹、流行歌を作曲。荒木一郎と意気投合。甘いバラード調」と紹介された。

【鳥へ】井沢清作詞、1983年NHK大阪のTVドラマ用に作られたが、後に合唱曲として発表とれた。

【見えないこども】谷川俊太郎作詞、映画『彼と彼女』(1963)の主題歌。岸洋子によって歌われた。

【恋のかくれんぼ】谷川俊太郎作詞、映画『班女』(1961)の為に作曲。ベギー・葉山によって歌われた。

【小さな空】武満徹作詞、1962年TBSラジオで毎夕放送された、子供の為の連続テレビドラマ『ガン・キング』の主題歌。

【死んだ男の残したものは】谷川俊太郎作詞、昭和35年安保戦争の時、武満のところに谷川が詩を持って行き、市民集会の為にと曲を頼み一夜のうちに出来あがった作品。

【小さな足あと】そらせいや作詞。地雷で埋め尽くされた土地の中で、常に危険と隣り合わせに暮らしながらも力強く生きてゆく子供たちを詠った作品。第2回日の『荒井恵美クリスマス・チャリティ・コンサート』を見て、作曲者が歌い手に贈った作品。

【見上げてごらん夜の星を】永六輔作詞。いずみたくと永六輔により昭和37年に初演された同名のミュージカルのテーマソング。3年後映画上映となり、主演の坂本九による歌は大ヒットとなった。

オペラ『死の都』より「私に残されていた幸せよ」 「モーツァルトの再来」と云われたコルンゴールド(1897生まれ)がこのオペラを作曲したのは23歳の時で大成功を始めた。

オペラの舞台は19世紀末のブルージュ。主人公パウルが若い妻マリーの死を悼み、部屋には愛妻の大きな絵や古い家具、遺品、彼女の光り輝くブロンドの髪などが残され、パウルはその思い出の中に暮らしている。そこへ妻そっくりの美しい容姿をしたマリエッタと云う踊り子が現れ、「いつも陽気だから、逆に悲しい歌が好きなのよ」と、死んでゆく誠の恋人の歌を歌う。

～私を包んでいた幸せよ、戻ってきておくれ。夕陽が沈み、夜が訪れる時、あなたは私を照らす光です。憂いが悲しく近づいてきても、放れないでおくれ。死が二人を分かち事はないのだから。いつの日か二人が別れ別れになったとしても、信じて欲しい、二人はまた甦ることを～

オペラ『清教徒』より「あなたの美しい歌声が」 オペラ作曲家としての名士ベッリーニ(1801生まれ)は1835年に『清教徒』をパリにて初演。それは大成功をおさめ17回も連続上演された。

舞台は17世紀半ばのイングランド西南部に近い清教徒軍の城塞。軍司令官の娘エルヴィラと、王徒派の騎士アルトゥーロの婚礼の日、アルトゥーロはここに王妃が幽閉されている事を知り、自らの恋よりも忠誠と義務に身を捧げる決意をし、王妃と共に逃亡する。それを知ったエルヴィラはショックと悲しみのあまり、錯乱状態に陥る。その状態のままひたすら愛する恋人との幸せを夢み、

その望みの中に生きようこのアリアを歌う。

～ここであなたの優しい声が私を呼んでおりました。そして消えました。もうここで喜びの溜息に浸る事もないのだけ。ああ、私に希望を返して、さもないければ死をお与え下さい。～

オペレッタ『こもり』より「序曲」 オペレッタの中でも最高傑作の『こもり』。ミュンヘン・オペラでは毎年大晦日に上演され、ワルツと笑いに満ちたひとときを楽しんでいる。この序曲は、オペレッタの中で聞かれるチャーミングな音楽を連ねたもので、劇中歌手たちによって歌われる甘美な旋律やワルツが次から次へと流れ、宝石箱をのぞく様に光り輝き、これから始まるオペレッタへの期待と興奮で観客を魅了する。

オペレッタ『微笑みの国』より「君はわが心のすべて」 ハンガリー出身のレハール(1870 生まれ)は、ウィーンの劇場で指揮を勤めていたがドボルザークの勧めで作曲家を志すようになった。物語は 1912 年当時のウィーンで、とても魅力的な国とされていた中国の王子が伯爵令嬢リーザと恋に落ち結婚する。しかし見知らぬ国に嫁いできたリーザが望郷の念に駆られるのを見て、王子はしみじみとリーザに～そなたは私の心のすべてです～と、自分の想いを語る。テノールの名アリアとして知られ、初演当時は何回もアンコールを求められたという。

オペレッタ『メリー・ウィドウ』より「ヴィリアの歌」 このオペレッタは 1906 年の初演から僅か 2 年足らずの間に 400 回記念公演が行なわれるほど大人気の作品。裕福な末亡人ハンナが再会した伯爵ダニロを思い、「次は、故郷の歌を、ヴィリアと呼ばれる妖精の歌をお聞かせしましょう」と、バルカンの民族色濃い故郷の歌を歌う。

「唇は閉ざしても」 ハンナとダニロは、“男と女”の恋のゲームの幕切れに、ついに真実の愛を確かめ合い、しみじみと歌い合う。～言葉には出さなくとも、握る手と手から私は(彼は)はつきりと感じる。あなたは私を愛している～

オペレッタ『観光案内人』より「美しく懐かしきドナウの街」 生粋のウィーンっ子であったツィラーのこの作品は『メリー・ウィドウ』が上演される直前までは劇場を沸かせる大人気のオペレッタであった。今を時めくオペラのプリマドンナ、マリアが、落ちぶれてしまった初恋の相手、ニキ男爵と再会し、ラブ・コメディが展開する。この歌は序幕で歌われる、ツィラーの中でもとりわけ美しい“ウィーン讃歌”である。

～麗しい五月の夜、愛しい町、ドナウは私たちにワルツと喜びをはこんでくれる。～

★ドイツ国際平和村 ホームページ★ <http://www.friedensdorf.de/>

国際平和村は、ボランティアと寄付により運営されている非営利団体です。

詳細につきましては、ホームページをご参照下さい。

★寄付口座★

東京三菱銀行 口座番号 2680343

口座名 : Aktion Friedensdorf e.V



CAST・PROFILE

荒井 恵美 ソプラノ — EMI ARAI, Soprano —



北鎌倉女子学園音楽科、東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。二期会オペラスタジオ研究所修了。東京コンセルヴァトワール尚美ディプロマコース修了。1990/91 年ドイツ留学。E・ウェルバ、E・ヘフリガー、D・ハーバー、E・ヒレマンの各氏に師事。'92 年草津国際音楽フェスティバルに助演。'93 年『E・ヘフリガー／クリスマスコンサート』(カザルスホール)に助演。同年、NHK 洋楽オーディション合格。友愛ドイツ歌曲コンクール入選。第 5 回日本声楽コンクール第 1 位、並びに田中路子賞受賞。副賞により翌年再び渡欧。'95 年第 8 回日本モーツァルトコンクール第 3 位。以降多数のコンサートに出演。オペラにおいては『カルメン』(メルセデス)、『魔笛』(ダーメ)、『コシ・ファン・トゥッペ』(ドラペラ)等を演ずる。宗教曲においてはヘンデル『メサイア』、モーツァルト『レクイエム』、『ハ短調ミサ』、ベートーベン『ハ長調ミサ』、グノー『戴冠ミサ』等のソリストを務める。又初ソロリサイタルとして、1998 年リーダーアーベント『五月の夜に』を開催。以

降'99 年『日本歌曲の夕べ』、2000 年『ウィーンとイタリアの風』、2002 年『ドイツ歌曲の夕べ』と重なる。ソロ活動の傍ら、1999 年、ライブワークとして『クリスマス・チャリティ・コンサート』第 1 回を開く。

現在、二期会、横浜シティオペラ、鎌倉音楽クラブ、各会員。県立生田高校グリーククラブヴォイストレーナー、西鎌倉混声コーラスヴォイストレーナー、女声コーラス・アマービレ指導。

(ホームページ: <http://www.5d.biglobe.ne.jp/~piacera/>)

尾尻 雅弘 ギター — MASAHIRO OJIRI, Guitar —

東京生まれ。1981 年米田パークリー音楽大学にジャズギターで留学。在学中ハリス・スタントン賞受賞。卒業後、ポスティング音楽院クラシックギター科入学。全米ギター連盟主催『第 4 回国際ギターコンクール』第 3 位。'86 年にはマンハッタン音楽学校に入学。『第 29 回パリ国際ギターコンクール』第 3 位、並びにゴピア賞受賞。以後、全米各地にて演奏活動。帰国後はソロ・室内楽、更に編曲・出版、更に'98 年 TV 番組「ウリナリ」で夫人の喜藤明子氏と共にキャーインのウド・鈴木氏のギター教師として登場するなど、幅広く活躍中。< CD > ポニーキャニオンより『オペラティック・ギター』、『シネマティック・ギター』

松岡 重親 テノール — SIGECHIKA MATSUOKA, Tenor —

京都市立芸術大学大学院音楽研究科収支課程修了。二期会オペラスタジオマスタークラス修了。鈴木寛一、重松みかの各氏に師事。ポーランド国立クラコウ・フィル日本公演、L・シュボフ作曲『ファウスト』ヴァーグナー役で出演以来、数多くのオペラ、オペレッタにおいて好演している。又芸術祭典・京(京都市主催)にも度々出演。京都市交響楽団、九州交響楽団とも共演。『第 9 回メサイア』『大地の歌』等のソロを務める。日欧文化協会フレッシュコンサート声楽部門優秀賞、第 15 回京都芸術祭京都市長賞、受賞。現在、日本演奏連盟会員、ニューオペラシアター神戸理事。京都大学グリーククラブ・ヴォイストレーナー。

佐久間 大和 ヴァイオリン — YAMATO SAKUMA, Violin —

東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。1994 年藤科高原音楽祭音楽祭賞を受賞。益田吾郎、石井志津子、山岡耕祐の各氏に師事。現在、アポロ室内合奏団コンサートマスター。

松川 儒 ピアノ — MANABU MATSUKAWA, Piano —

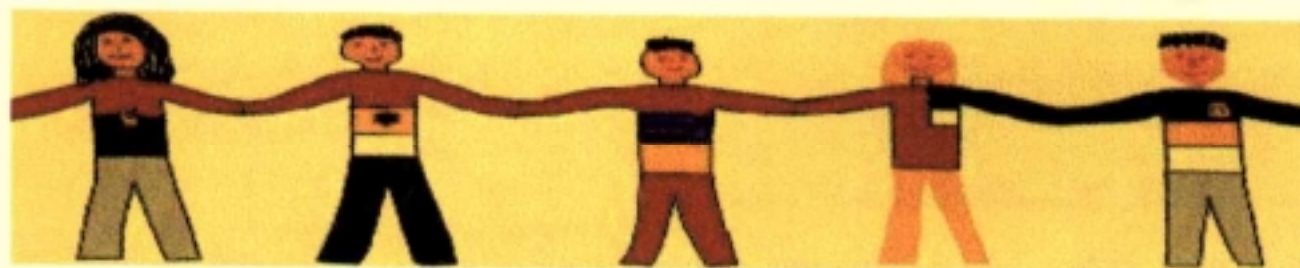
東京芸術大学音楽学部ピアノ科卒業。カールスルーエ国立音楽大学大学院修了。在学中より主として声楽分野でコレパティトゥーア、リート伴奏を手がけ、佐藤光政、岡村喬生、釜洞祐子、各氏をはじめ多くの歌手と共演。又、宮本亜門氏演出のオペラにおいて、音楽助手・副指揮を務める。第11回シューマン国際コンクール公式ピアニスト。現在は、ピアノソロ、室内楽、歌曲デュオと幅広く活躍中。NHK-FM、ドイツWDR-FM、SDR-FM、に録音多数。洗足学園大学、玉川大学、各講師。<CD>音楽の友社より『夢のあとさき』

荒木 さやか ピアノ — SAYAKA ARAKI, Piano —

桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業。吉田喜代子、工藤智里、園田泰子の各氏に師事。練木繁夫、ジェルメーヌ・ムニエミハイル、ヴォスクレセンスキー各氏の公開レッスンを受講。きたのじゅん版画展、東急ホテルクリスマスディナーショーでのピアニスト、横浜美術館、栄区民文化センターリリスでの蒼きMUSEの森、旭公会堂クリスマスコンサート等の出演をはじめ、声楽、管等とのアンサンブルピアニストとして活動している。

中山奈穂 パーカッション — NAO NAKAYAMA, Perc —

3歳よりピアノ、中学校より打楽器を始める。埼玉県大宮光陵高校音楽科卒業。東京音楽大学器楽科卒業。打楽器及びマリンバを菅原淳、岡田真理子、藤本隆文、鷹羽香織里の各氏に師事。



見上げてごらん夜の星を

永 六輔 作詞
いずみ たく 作曲

見上げてごらん 夜の星を

小さな星の 小さな光りが

ささやかな幸せを うたってる

見上げてごらん 夜の星を

ボクらのように 名もない星が

ささやかな幸せを 祈ってる

手をつなごう 僕と

追いかけてよう 夢を

二人なら 苦しくなんかないさ

見上げてごらん 夜の星を

小さな星の 小さな光りが

ささやかな幸せを うたってる

見上げてごらん 夜の星を

ボクらのように 名もない星が

ささやかな幸せを 祈ってる